

4 - 14 紀伊水道付近の海底地形，地質構造について

Submarine Topography and Geological Structure

Approaches to Kii-suido

海上保安庁水路部

Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

水路部では，昭和 51 年 11 月～52 年 1 月にかけて，紀伊水道付近の海底地形，地質構造の調査を行ったので報告する。

1. 調査要領は下記のとおり。

調査線間隔：500m，（方向はほぼ岸線に直交）

船位の決定：精密電波測位機

測深機：磁歪式音波探査機

2. 海底地形（第 1 図）

南北に開口している海峡を流れる強い潮流によって作られた海釜の発達が特徴的な海域である。中ノ瀬戸の双生児型をはじめ，樋型，楕円型等が海峡を挟んで存在している。又海釜に係る凹地，海釜を区分するような高まりが見られる。淡路島，紀伊半島沿岸部には中央構造線との関連を示唆する小地形がみられる。

3. 地質構造図（第 2 図）

南部では東－西方向，北部では北東－南西方向の軸をもつ断層が卓越している。中央構造線が紀伊水道の海底下においても連続する様相が顕著にみられる。その延びの方向は，紀ノ川河口から北西約 5km からほぼ東西に走向し，淡路島南東端に至る。又断層の落ちの方向は，紀伊水道の中央部付近から東側は南落ちの様相をみせ，西側は北落ちの様相をみせる。友ヶ島南方での基盤の落差は約 11m あり，表層にもその影響が表われている。

（青 俊二）

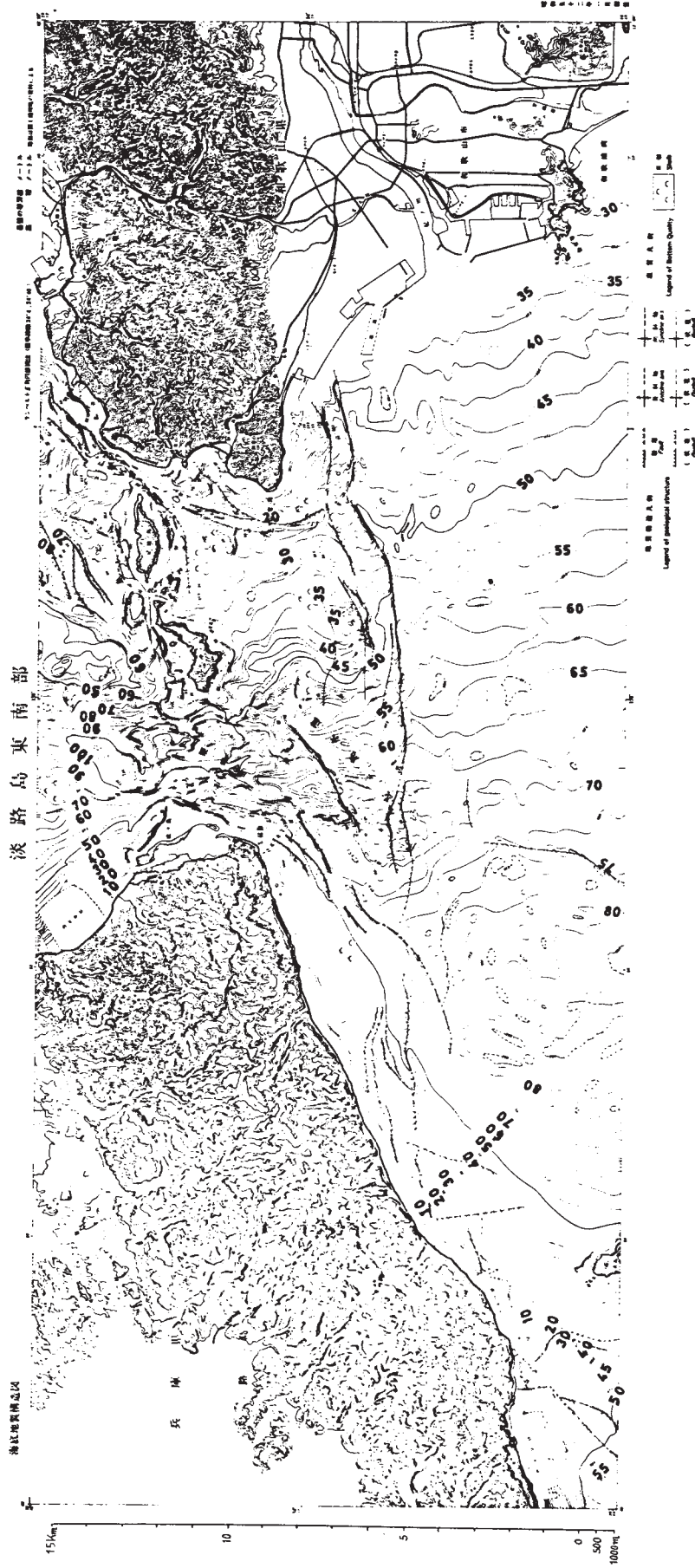
参 考 文 献

- 1) 海上保安庁水路部，1977：淡路島東南部海底地形地質調査・調査報告書



第1図 海底地形図

Fig.1 Bathymetric Chart.



第2図 地質構造図 (基盤の等深線メモートル)

Fig. 2 Submarine Geological Structure Chart.